

# 飲料水に関する調査—市販のおいしい水の利用状況—

## ○今中正美、道本千衣子（跡見学園女大短大）

目的 1988年にミネラルウォーター(以後市販水とする)の利用状況調査及び官能検査を行った。その結果、市販水購入経験者は約3割、その6割以上が興味で購入していた。また、今後(も)購入するという人は1割程度であった。更に、官能検査の結果からも市販水が好まれているとは言えず、今後、市販水利用者は急増しないであろうと推測した。今回はそれを検証するため、10年経過後の1998年12月に同様調査を行った。

方法 市販水の利用状況については、本学家政科学生と父兄へのアンケート、味に関しては、水道水・湯冷まし・市販水・蛇口に取り付けた浄水器を通した水、それぞれについて三点嗜好法による官能検査を行った。

結果 ①主として飲んでいる飲料水の形態については7割以上が水道管から直接取水していた。また、水をそのままの形で飲んでいる人は、前回調査時に7割以上いたが、今回の調査では約3割に減少し、前回1割に満たなかった市販水利用者が約2割に増加し、前回約2割であった浄水器利用者が3割以上に増えた。

②市販水を飲料水として飲んだ経験者は、前回の約5割から8割以上に増加したが、その水を飲んでおいしかったと答えた人は、前回同様、半数だった。また、購入理由は、いつも飲んでいる水がまずいから、健康のためなどの積極的理由が増加し、更に、前回1割程度だった今後(も)購入するという回答が、今回は3割を超えた。

③官能検査の結果からは、必ずしも市販水が好まれるとは言えず、アンケートの結果とも一致したといえる。